



「大きいイモ掘ったぞ」と歓声を上げる子供達

初めてのサツマイモ掘り

毎号としこんでください。きつとお役に立ちます。

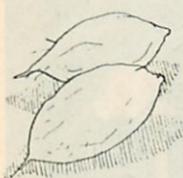
市内みどり町にある「な
おみ保育園」(一戸義雄園
長)では十月二十九日、近
くにある一戸園長の畑で、
サツマイモ掘りを楽しみま
した。

これは、園児たちの園外
保育の一環として今年初め
て行われたものです。

この日園児たち八十人は、
全員はだしになり、イモの
ツルを張っぱり、土の中か
ら顔を出したサツマイモを
小さい手で一生懸命掘り出
していました。

自分の腕ほどもある大き
なイモを手にとり、歓声を上げて
大はしゃぎ。

また、既に収穫してあつ
たサツマイモが煮られ、園
児たちは秋の恵みと味覚を
楽しんでいました。



市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたくたちの先人は、不撓不屈の五所川原
魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り
開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き
上げました。

わたくたちは、この伝統を継承し、広
い視野に立って西北津軽の人々と協調し、
郷土の限らない発展を願って、こ
こに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

昭和62年
No.651

11-15

まつり開く

誘致企業も2社参加

市、市内三農協、農業青年会議が主催する「第四回五所川原市農業まつり」が十月三十、三十一日の両日、市民体育館で開かれ、多くの人出でにぎわいました。

初日の開会式では、森田市長が「農業の振興こそ常に最重要課題であり、農業まつりの開催を契機に地場産業の育成や、野菜倍増計

画等を積極的に推進していきたい」とあいさつを述べました。

引き続き、浅川勇県議会議員、一戸吉治北地方農林事務所次長、川浪直治市議会議長がお祝いのご挨拶を述べました。

この後会場では、農林産物等の共進会と直売市、五所川原牛肉の試食と即売、

農業センター作物展、米消費拡大展、生活改善グループ展、西北五物産観光展などが開かれたほか、農事相談、健康相談などの各コーナーが設けられました。

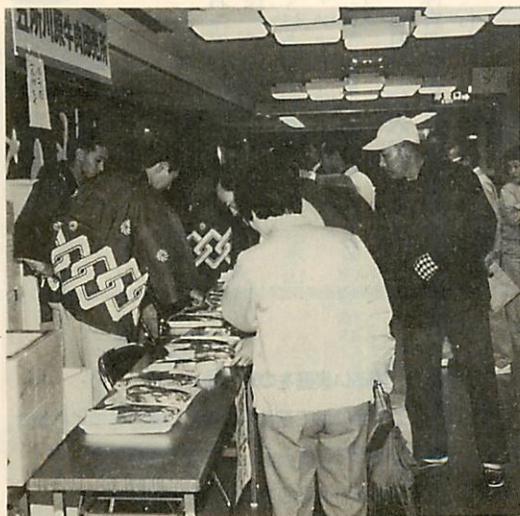
今回の農業まつりでは、毘沙門地区と依元地区からりんごジュース、みそなど、各地区の特色ある農産物加工品が出品され、好評を得



開会式であいさつを述べる森田市長



農産物共進会



人気のあった「五所川原牛肉」の即売



農産物加工品の即売

第4回 市農業



今年は誘致企業が2社参加



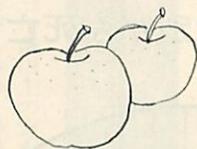
笑顔で応待する生活改善グループの皆さん



ミスりんご娘に選ばれた猿賀さん(中央), 準ミスの前田さん(左)と一戸さん(右)

ていました。
さらに、市の誘致企業である「青森フアッション(株)」が昨年に続き参加し、自社の製品のハーフコート、ジャケット、ブラウス、ワンピースなどを展示即売、また、今回初参加の「津軽東芝音響(株)」ではラジオやテープレコーダー、CDプレーヤーなどを展示し、市民から好評を博しました。また、金木営林署コーナーも昨年に引き続き設けら

れ、青森ヒバを使った製品の展示と即売が行われたほか、市内の小中学生から募集した農業についての図画、習字三百五十点も展示されました。
農業まつりの最後には、優良な農林産物等の出品者に対する表彰式を行いました。
最優秀賞受賞者は次のとおりです。(敬称略)
◇果樹(りんご) 岩崎雅文(金山)



- ◇野菜(白菜) 高橋チナ(金山)
- ◇花卉(菊) 長尾信彦(川山)
- ◇雑穀(小豆) 小坂みつ(水野尾)

農業まつりの行事の一つとして「ミスりんご娘コンテスト」が行われました。
このコンテストは、農業まつりを盛り上げるのと、市の基幹作物であるりんごの消費拡大を積極的に推進しようという開かれているものです。
この日は、和やかなうちにも厳正な審査の結果、出

場者十一人の中からミスに猿賀久子さん(長富・喫茶店勤務)、準ミスに前田佳代子さん(梅田・会社員)、一戸久美子さん(藻川・学生)が選ばれました。
ミス、準ミスの三人は、十二月にりんごPRのため宮崎県キャラバン隊に同行する予定です。

ミスに猿賀さん
準ミスに前田さん・一戸さん

受けよう検診

市では、市民の健康を守るため各種検診

事業を行っています。受

大変残念なことです。これからは、

市民一人ひとりが「自分の健康

は自分で守る」という意識

を強くもって、積極的

に検診を受けるこ

とが大切です。

がんによる

死亡が

トップ

昭和六十一年度の死因順位は、表を見てもわかるとおり全国、県、市ともにがんが死因のトップを占めています。

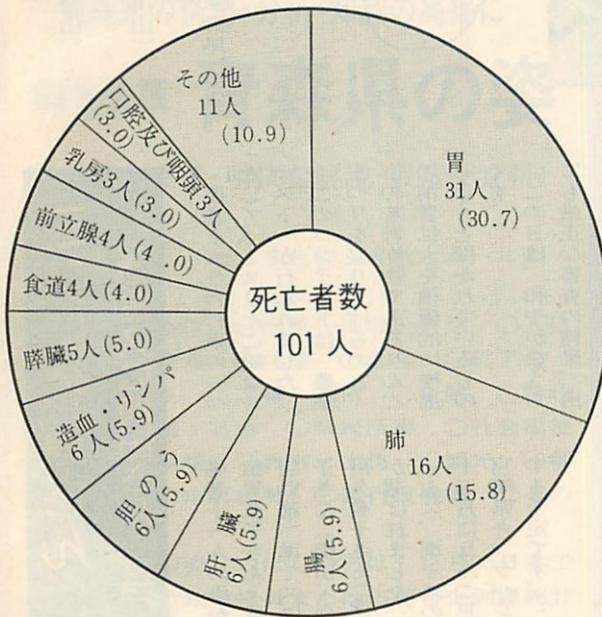
市民の方で昨年亡くなった人は三百二十五人で、がんは死因のトップを占め百一人(三十一割)、死亡率も年々増加を続けています。

二位の心臓病も着実に増加傾向にあり、七十一人(二十二割)と数年後には一位のがんと入れ替わるだろ

昭和61年死因順位

	1	2	3	4	5	6
五所川原市	がん	心臓病	脳卒中	肺炎及び気管支炎	老衰	不慮の事故
青森県	がん	心臓病	脳卒中	肺炎及び気管支炎	老衰	不慮の事故
全国	がん	心臓病	脳卒中	肺炎及び気管支炎	不慮の事故	老衰

昭和61年部位別がん死亡



()内は%

がんは「早期発見」に限る

胃がんが男女とも依然として多く、三十一人(三十一割)に達しており、早期に検診を受けていたら……と悔まれます。

しかし、このような病気も早期発見、早期治療で完治するようになってきています。

特に、検診率の低い男性

の死亡が女性の二倍も高いことをお忘れなく。

がんは無症状からはじまりません。自分だけは大丈夫と思わず、定期的ながんの検診を受けることが大切です。

- ① がん予防のための12か条
- ② バランスのとれた栄養をとる。
- ③ 毎日、変化のある食生活を。
- ④ 食べすぎをさげ、脂肪は

- ④ ひかえめに。
- ⑤ お酒はほどほどに。
- ⑥ たばこを少なくする。
- ⑦ 適量のビタミンと繊維質のものを多くとる。
- ⑧ 塩辛いものは少なめに、熱いものはさましてから、
- ⑨ 焦げた部分はさける。
- ⑩ かびの生えたものに注意。
- ⑪ 日光に当たりすぎない。
- ⑫ 適度にスポーツをする。
- ⑬ 体を清潔に。

(国立がんセンター)

守ろう健康



検診を受ける市民達

市の検診事業をご利用ください

市では、市民の皆さんの健康チェックと病気の早期発見のために、次のような検診事業を行っています。

胃がん検診

四十歳以上の市民を対象に検診車による集団検診を実施しています。

大腸がん検診

四十歳以上の市民が対象で、胃がん検診時に便潜血検査法による検診を行っています。

ミニドック (健康診査)

市役所衛生課・各支所

①保険
証持参
にて申
し込む
受診料：千円
(申し込み時)
70歳以上の方
生活保護世帯
市民税非課税
世帯の方は無
料(証明書持
参)

②受診記録票の交
付

40歳以上の市民

③受診
(記録票
持参)
昭和23年3月
31日までに生
まれた方(職
場で検診を受
けている方除
く)

④結果通知

希望医療機関

検査項目↓診察、血圧
測定、身体測定、心電
図、尿検査、貧血検査
(赤血球、ヘモグロビ
ン、ヘマトクリット、
血糖)
肝機能検査(GOT、
GPT、総コレステロ
ール)

子宮がん検診

三十歳以上の婦人を対象に検診車による集団検診を行っています。

乳がん

甲状腺検診

三十歳以上の方を対象に子宮がん検診と併設して実施しています。

結核検診

十六歳以上の市民が対象です。都合の良い日時、場所での検診による検診を受けることができます。

※結核検診だけは申し込みなしで受けられますが、ほかは申し込みが必要ですが、実施月日、料金等の詳細については、そのつど市広報でお知らせしていますが、各地区の保健協力員にお尋ねになっても結構です。

検診を

受けて安心

一家の健康

40歳からの

健康週間について



中村謙治先生

英国の諺に「健康なときこそ、病を研究せよ」とあります。

四十歳は、人生八十年時代の折り返し点です。

十月十日から十六日まで、壮年、実年(四十代)からの健康管理によって将来寝たきりや痴呆、その他の病気の予防に特に努力する週間でした。

中国古来の陰陽道による男四十二歳、女三十三歳の「大厄」も医学的に根拠がありそうです。現代人の「厄払い」は「人間ドック入り」とも言われています。どうぞ自分の健康を再認識し、市の集団検診や健康教室を利用して成人病及びその他の疾患の早期発見・早期治療に心がけ、幸せな人生を送ってください。

「人は死ぬのではなく、自殺しているのだ」と古代ローマの哲学者「セネカ」が名言を述べています。

日頃の不養生(酒・タバコ・食塩の取りすぎ・寝不足・運動不足など)で生来健康な人でも意外に病にたおれやすいということでした。

中村内科医院長の中村謙治先生は、このように語っていました。

農業者の救済を 強く訴える

―東北市長会総会―

去る十月二十三日、山形市で開催された「第百十一回東北市長会総会」において、森田市長は「農業者に対する救済措置について」強く要望しました。

昨今の農家経済は、減反、米価の引き下げ等により著しく疲弊している状況であり、このため農業土地基盤整備事業に係わる受益者負担金について、負担率及び借入利率を引き下げるとともに、その支払いについて、も練り延べ措置を講じる等



東北市長会総会で農業者の救済を強く訴える森田市長

負担の軽減を図ること。

また、わが国の農業は、国民の食糧である米の生産のみならず、水田のもつ貯水機能により、水害を受けやすいわが国の国土保全の一翼を担っていることから、農業用水路の維持管理について助成措置を講じ、農家が健全な経営を図れるように特段の措置を強く要望するもので、市では今後とも国に対し、機会あるごとに働きかけていく考えです。

漆川工業団地

―一流企業15社が視察―

県と仙台通産局主催による工場立地視察団(サーベイ・ミッション)が、去る十月二十二日、本市を訪れました。

一行は、十月二十一日から二日間にわたって県内の六か所の工業団地などを視察することが目的で、シャープや積水化学、トーヨーサッシなど中央の優良企業十五社約三十人が参加しました。



青森職業訓練短期大学の授業を視察するサーベイ・ミッションの一行

漆川工業団地の現場で、市の担当者から団地の概況や工業用水、労働力、冬期間の交通確保などの説明を受けた後、青森職業訓練短期大学校を視察し意見交換を行いました。

漆川工業団地に大挙して視察団が訪れるのは始めてのことで、担当者の説明や地方進出に当たっては漆川工業団地への呼びかけに熱心に耳を傾けていました。

「火の用心」を 呼びかけ

秋の火災予防運動

「消えたかな、気になるあの火、もう一度」を統一標語に、十月二十六日から十一月一日までの七日間秋の火災予防運動が開かれました。

この運動は、秋の火災多発期を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることに、火災の発生を防止し、死傷事故や損失を防ぐことを目的に全国一斉に行われました。



一日消防長の奈良局長から感謝状を贈呈される一戸さん(右)

本市では、運動期間中に、防火パレード、中高層建築物の火災を想定した消火、救急及び救急訓練、幼年消防クラブ(十九クラブ)による街頭広報、一般家庭の消火器等の無料診断(防火教室)などが行われました。

このほか、十月一日に発生した雑田の火災における現場協力者として、小田桐正弘さん(市内水野尾)と一戸実明さん(市内元町)に一日消防長の奈良助信さん(NTT五所川原電報話局長)から感謝状と記念品が手渡され、市民の防火意識の高揚を図りました。

市農業振興地域整備促進協議会 委員を委嘱

委員を委嘱

市では十月二十七日、産経会館で農業振興地域整備促進協議会委員四十一人の委嘱状交付式及び組織会を行いました。

農業振興地域整備促進協議会委員は、総合的に農業の振興を図ることが必要であると認められる地域について、農業の健全な発展を図り、必要な施策を計画的

に推進するため、農業振興地域整備計画及び農業構造改善事業計画などの審議を行うものです。

交付式では、森田市長が「地域農業の振興をはかるため、皆さんのご協力をお願いします」とあいさつを述べました。

引き続き、組織会を開催し、役員を決めました。



委嘱状交付式

今回、市が委嘱した方々は次のとおりで、任期は二年です。(敬称略)

◎会長 菊池久左エ門(広田堰土地改良区理事長)

◎副会長 中谷惣四郎(市農業協同組合長、三上光男(七和農業協同組合長)寺田久司(市農業共済組合長)

◎委員
藤田純一(北地方農林事務所長)、福土隆二(五所川原地区農業改良普及所長)、明内文男(北土地改良事務所長)、泉谷正志(市農業委員会長)、川浪直治(市議会議長)、大野欽也(市議会経済常任委員長)、葛西治(津軽中央農業協同組合長)、小栗山三郎(川除第一農業協同組合長)、吉崎忠直(嘉瀬農業協同組合長)、長尾徳一(北部土地改良区理事長)、小田桐政吉(南部土地改良区理事長)、原田一実(小田川土地改良区理事長)、

鳴海博実(白山溜池土地改良区理事長)、大坂脩造(前田野目土地改良区理事長)、白取善三(津軽平川土地改良区理事長)、石田清治(西津軽土地改良区理事長)、三戸稔(柏木堰土地改良区理事長)、中野堅司(北津軽森林組合長)、外崎富保(原子・羽野木沢・俵元財産区議長)、新谷武一(前田野目財産区議長)、松野繁春(神山財産区議長)、土岐美智明(野里財産区議長)、中川定雄(松野木財産区議長)、片岡重義(戸沢財産区議長)、川浪重次郎(鶴ヶ岡、飯塚平次、原三郎(以上飯詰)、野呂邦雄(鎌谷)、沢田要一(毘沙門)、小田桐清美(長橋)、秋元新一(松島)、斉藤哲(長富)、毛内徳栄(栄)、工藤柁光(小曲)、松沢治郎(中川)、福士長太郎(梅田)、今正一(中泉)

(五所川原警察署提供/昭和62年10月31日現在)

(1) 交通事故発生状況

派出所 駐在所別	10月																累計 (1月~10月)							
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月								
件数	7	83	1	9	0	9	1	14	2	4	3	31	1	8	3	36	1	12	1	10	0	3	219	
死者																1	2	1					1	3
傷者	9	94	1	9	0	15	4	22	2	4	3	34	1	9	2	43	1	12	1	11	0	3	256	
死亡事故 継続日数		406		719		6,143		840		2,378		532		328		30		133		713		6,143		

(2) 死亡事故発生状況

発生日時	発生場所	第1当事者	第2当事者	状況
62.2.1 13:50	みどり町3丁目68	大型特殊自動車	歩行者	除雪車が後退し歩行者を轢過
62.6.20 8:10	大字豊成字田子ノ浦104-3	普通貨物自動車	自転車乗り	普通貨物自動車が発進直前横断の高校生に衝突
62.10.1 13:35	大字浅井字色吉106	大型貨物自動車	自転車乗り	大型タンクローリーと自転車の出合頭衝突

「ステップ・アップ」をテーマに

フェスティバル

― 勤労青少年ホーム ―

勤労青少年ホーム(長内良憲館長)の利用者が一年間を通して学んできた趣味や教養の発表の場である「第九回ホームフェスティバル」が十月二十四、二十五日の両日、同ホームで開かれ多くの若者達が訪れました。

今回のテーマは、飛躍・進歩などすべての意味をこめ「ステップ・アップ」。

初日は午後六時三十分から開会式が行われ、主催者である菊栄会(ホーム利用



大盛況であった展示・即売会



若者達は二日間にわたって楽しく過ごし、同ホームを今まで以上に創作活動や意見交換の場として活用していくことを誓い合いました。

者の会)会長の倉光秀彰さんのあいさつ後、来賓の逆瀬川清巳市経済部長、ホーム運営委員の齋藤千秋さんがお祝いのご挨拶を述べテーパーカットを行いました。

この後、吹奏楽団のコンサートを皮切りに少林寺拳法演武、ジャズダンスなどが、また翌二十五日は各教室やサークルの作品展示とチャリティバザー、組みも実演、お茶会などが行われました。

市農業まつり協賛

肉用牛共進会開く

市では十月二十七日、毘沙門牧場で肉用牛共進会を開きました。

この共進会は、畜産農家の飼育技術の向上と畜産の振興をはかるために、市農業まつり協賛として開かれたもので今回で二回目。



毘沙門牧場で行った肉用牛共進会

この日は、市内の農家から自慢の黒毛和牛二十五頭が出品されました。

共進会では、木造家畜保健衛生所の島川英一郎課長、県畜産試験所森田支場の山本永悦研究管理員の二人が審査員として、発育の状況、

毛質、皮の厚さ、品の良さなどを厳正に審査していました。

入賞者は次のとおりです。(敬称略)

◎特別優等賞

成田正幸(高瀬)

◇雌子牛の部

①間山政広(戸沢)

②寺田政勝(福岡)

③太田祐治(飯詰)

◇去勢子牛の部

①間山政広(戸沢)

②石崎 昭(梅田)

③富士嘉吉(梅田)

◇未經産牛の部

①太田裕康(飯詰)

②奈良洋一(飯詰)

③松野只直(神山)

成人式は1月3日

に行きます

市では、成人式を来年一月三日に行います。

対象者は、市民で昭和四十二年四月二日から昭

和四十三年四月一日までに生まれた人です。

対象者には、十二月初めに通知します。

お問い合わせは、市教育委員会社会教育課(☎352111番内線二四八番)へどうぞ。

雪国アイディアコンクール作品募集

▷募集内容 雪に関する広い分野でのアイデアを募集します。

▷応募要領

○応募用紙は、県地域振興課及び市秘書企画課(☎352111番内線318番)で用意しますので、お申し出ください。

▷応募期間 12月15日まで

▷応募資格 特になし

▷応募先(問い合わせ先)

青森市長島1の1 青森県企画部地域振興課
「雪国アイディアコンクール係」

☎0177@1111番内線2169番

市民文化向上のためがんばって

市民総合文化祭関係者を激励

市民文化振興会議(敦賀喜久蔵会長)主催の「市民総合文化祭」が十月二十五日

から十一月八日まで開催されました。

います。

森田市長は「文化の日」の十一月三日、それぞれの団体の展示・発表会場を訪ねて「大変ご苦労様です。市民の文化活動の向上のためがんばってください。また、貴会ますますの発展をお祈りします。」と関係者を激励しました。



森田市長を激励する文化祭関係者

この文化祭は、市民の芸術文化の交流と振興を図ろうと市中央公民館を主会場に開かれているもので、今回で二十七回目となり、参加団体も茶道、書道、華道、木彫、籐手芸、謡曲など三十団体に上っています。

図書館に美術書を寄贈

社会福祉法人若菜会

がとうございます。

社会福祉法人若菜会(飛島のぶ代表)では、このほど市立図書館に美術書「エミールガレのガラス、川合玉堂(上・下)の三冊(十七万円相当)を寄贈されました。

和五十四年から行われているもので、今年で七回目、百十一巻に上っています。飛鳥さんは寄贈にあたり「市民の皆さんが見て楽しく、豊かな感性を育てるのに役立てください」と語っていました。本当にあり



福祉基金にと150万円寄付

(有)羽藤商事の佐々木さん



佐々木 先生(右)に手渡される森田市長(右から2人目)と平山誠敏市社会福祉協議会長(左)右は平山誠敏市社会福祉協議会長

社会福祉にと11万円

NTT五所川原電報電話局

NTT五所川原電報電話局(奈良助信局長)では十月二十八日、社会福祉に役立ててくださいと十一万円を寄付、奈良局長が市社会福祉協議会を訪れ、山形松年社会福祉協議会次長に手渡しました。

奈良 先生(中央)に手渡される山形松年局長(左)と山形次長(右)

これは、同局が十月二十四日に開催した「チャリティーパーサー」の益金を寄付したものです。山形次長はこの寄付に対し「ご好意大変ありがとうございます。社会福祉のために役立させていただきます」とお礼を述べました。

(有)羽藤商事社長佐々木 先生は、先般の火災に対する市民から寄せられた暖かいお見舞いに対するお礼として、福祉基金にと百五十万円を寄付されました。同氏は十一月二日、市役所を訪れ平山誠敏市社会福祉協議会長立ち合いのもと森田市長に手渡しました。この寄付に対し森田市長、平山会長は「本当にありがとうございます。社会福祉のために役立させていただきます。」とお礼を述べました。

県信用保証協会からのお知らせ

▷事業者カードローン当座貸越根保証

この制度は、経営に必要な小口資金を当座貸越取引の保証により、カード・通帳を用いて借入(貸越)ができる新しいタイプの保証です。

○カードを利用することによって、借入が契約(取引)店舗に限らず、仕入先でも遠隔地でも、自由にできます。

○自動支払機の利用によって、急な資金需要の際、窓口の営業時間外であってもすぐに対応できます。

○金融機関が休業となる第2・第3土曜日でも資金の調達が可能です。

○カードの利用によって、金融機関窓口での煩雑さから開放されます。

○日常の金庫代わりとして、毎日の運転・仕入資金の出し入れが自由です。

○一度契約すれば借入のつどの書類手続きは不要ですので、印紙代が節約できます。

○保証料は担保提供できる場合年率0.80%、無担保の場合でも年率0.90%とご利用しやすくなっています。

※詳しいことは、県保証協会五所川原支所(☎⑤4121番)または金融機関各支店までお問い合わせください。

青森県の情勢・分析・知識の高揚に

62年度版 青森県の姿

(美しい表紙・明快な解説・豊富な資料)

〈頒価〉 1,400円

〈装丁〉 B5版 多色刷 表紙ビニール張

〈主な内容〉

- 主要経済指標 ○沿革・地理・自然 ○人口
- 労働 ○農業 ○林業 ○水産 ○鉱工業
- 商業・貿易 ○運輸・通信 ○金融 ○財政
- 家計・物価・賃金 ○県民所得 ○社会福祉
- 医療 ○環境 ○教育・文化 ○観光 ○都道府県勢 ○市町村勢 ○県行政機構 ○その他

☆「青森県の姿」のほしい方は、11月25日までに各地区の行政連絡員または市秘書企画課統計調査係(☎⑤2111番内線319番)へお申し込みください。

国民年金相談所 開設について

年金について、どんなことでも結構です。担当職員がご相談に応じます。

お気軽においでください。

▷日程

月日	曜日	地区名	会場	時間
11. 18	水	栄みどり町	コミュニティセンター栄	9:00~11:00
11. 18	水	梅沢	梅沢支所	13:00~15:00
11. 19	木	七和	七和支所	9:00~11:00
11. 19	木	長橋	長橋支所	13:00~15:00
11. 20	金	松島	コミュニティセンター松島	9:00~11:00
11. 20	金	飯詰	飯詰支所	13:00~15:00
11. 24	火	毘沙門	毘沙門支所	9:00~11:00
11. 24	火	中川	コミュニティセンター中川	13:00~15:00
11. 25	水	三好	三好支所	9:00~11:00
11. 26	木	五所川原 若松 島町 小曲	保険年金課	9:00~15:00

※詳しいことは、市保険年金課国民年金係(☎⑤2111番内線265・267番)へどうぞ。

違法な自家用バスを 使用しないようにしましょう

自家用バスは、「その使用者のため」にのみ使用するものであり、有償く金品の種類及び額、収受の名目のいかん(ガソリン代・旅費・日当・実費など)を問いません。トで運送したり、無償であっても、反復継続して他人を運送することは、法律で強く禁じられております。

このような違法な自家用バスを利用しないよう、ご注意ください。

なお、違法な自家用バスを利用して、不幸にも交通事故に遭った場合には、賠償問題が非常に面倒になります。

新受入図書

市立図書館

書名	著者名	書名	著者名
スクラップ術	角間 隆	殺意の布石	有村智賀志
拡大写本の作り方	山内 薫	螢の恋	中村 キネ
元禄武士学	神坂 次郎	一揆一揆	平川 清
はにわ読本	末永 雅雄	明日物語	阿刀田 高
白い国の詩	東北 電力	ガウデイの夏	五木 寛之
パープシカの宝石	入江 麻木	魂の岸辺	北方 謙三
チョッチャんのここ まで来た道	黒柳 朝	微熱少年	松本 隆
歲月よ王朝よ	季 方子	さよならは2Bの 鉛筆	森 雅裕
育てあい家族	黒岩 秩子	誘われて	森 瑤子
日本防衛62年	防 衛 庁	秘剣・飛蝶斬り	伊藤 桂一
休日神経症	平井 富雄	ハーブの事典	北野佐久子
中国の名酒100選	今戸 榮一	親は逃げられない	俵 萌子
日本を襲う 外国青果物	森 祐二	もう一つの人生	〃
芝居ごよみ	水上 勉	火山と地震の国	中村 一明
「マルサの女」日記	伊丹 十三	呆けないための 生活学	大国美智子
水泳で若返る	金澤 壮二	われらチェルノブイ リの虜囚	高木仁三郎
嫁してインドに 生きる	タゴール 暎子	暮らし上手の 家事ノート	町田 貞子
日本列島地図の旅	大沼 一雄	入門ハンブル	金 容権
現代女性の生き方	小森 健吉	家庭果樹の剪定	高橋 栄治

かっちゃんのアイデア展と 食品ゼミナール

生活改善グループ員の活動事例紹介のアイデア展と栄養三色による新しい「食事学」を基礎に、日本型食生活の普及を目指した食品ゼミナールです。

市民多数のおいでをお待ちしています。

▷日時 12月10日(木) 午前10時～午後4時

▷場所 働く婦人の家

▷内容

○「かっちゃんのアイデア展」(作品展示、試食実演会)

○「食品ゼミナール」

1.映画「こんにちはピフィズス」

2.講話「ヨーグルトと健康」

3.講演「日本型食生活—食事づくりは科学、愛情、労働のハーモニーで—

講師(社)栄養改善普及会

会長 近藤とし子氏

▷主催 五所川原地区生活改善グループ連絡協議会

(社)栄養改善普及会

文化講演会

市教育委員会、市連合PTAの主催により、女性としては世界初の氷上踏破で北磁極点に到達した和泉雅子氏を迎えて、次のとおり文化講演会を開催いたします。入場は無料です。

▷とき 11月27日(金) 午後6時30分～

▷ところ 市民文化会館大ホール

▷講師 女優 和泉雅子氏

▷演題 「私だけの北極点」

▷主催 市教育委員会・市連合PTA

▷お問い合わせ 教育委員会社会教育課 (☎35) 2111 番内線 250 番)

NHKあおもり50周年 シンボルマーク募集

青森県にNHKの電波が流れて50周年を迎えます。その記念事業として「NHKあおもり50周年シンボルマーク」の募集をします。

▷応募資格 県内にお住まいの方

▷応募条件 作品は未発表のもの

▷応募締切 11月25日

▷賞金 入選1編 5万円

佳作5編 記念品

▷お送り先 〒030 青森市松原2丁目1-1

NHK青森放送局

「50周年シンボルマーク」募集係

▷お問い合わせ ☎0177(7)5111番へどうぞ。

五所川原女声コーラス テレフォンサービス実施中

☎35 8002番

第10回全日本おかあさんコーラス全国大会グランプリ受賞曲「雨のファンタジー」のすばらしいハーモニーをお楽しみください。

たばこは、 市内から買って!

あなたが市内でたばこをお買い求めになりますと、たばこ消費税が市の収入(たとえばマイルドセブン1箱につき41円40銭)になります。



12月の保健センター相談日

12月4日、11日、18日、25日です。(毎週金曜日)。

▷時間 午前10時から午後3時まで。

▷内容 保健婦が血圧測定、尿検査を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまでお気軽にご利用ください。

お問い合わせは、市衛生課へ(☎35)2111番内線268番)。

老人精神保健教育講座 (この道はいつか来る道)

五所川原保健所

▷日程

日 時	行 事
11月19日(木) 13:00~ 15:30	「ボケの正体をさぐる」 ○老年期の特性とボケ ○映画「白い記憶の世界」
11月30日(月) 13:00~ 15:30	「間違っていないかボケ老人の理解と接し方」 ○寸劇を通して考える
12月7日(月) 13:00~ 15:30	「ボケ予防のための工夫とポイント」 ○日頃の食生活を通して ○予防のための生活の知恵

▷場所 五所川原保健所

▷問い合わせ先 五所川原保健所(☎34)2108番)へどうぞ。

白々と九文三分の母の足袋
萱原の穂わたに淡き日のひかり
葦原の脈打つ先や岩木山
岩木嶺のふところ深し秋の川
すすみゆく世のさまざまを秋の蝶
水澄むやけつべき過ぎし少年期
門を出て月の出ばなの赤きかな

俳

句

五所川原俳句会

成田市子
対馬暉子
松宮梗子
斎藤今日子
前田せい女
斎藤さだ
野村とし

「愛の献血」お願いします

期 日	時 間	場 所
11月25日 (木)	午前10時から 11時30分まで	白生会胃腸病院 (上平井町)
	午後1時から 午後4時まで	五所川原東高等学校 (羽野木沢)

乳幼児の健康診査

▷場所 市保健センター

▷受付時間 午後1時~1時30分まで。

▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。
3歳児は尿検査も行いますので、当日小ビンに尿を入れてもってきてください。

※注意 ①6ヵ月児健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配付しますが、当日つごうで来れない場合は、衛生課窓口セットをもらいにきてください。(ただし生後6ヵ月、7ヵ月児に限る)。

②病気療養中(特に伝染性の病気)のお子さんはご遠慮ください。

お問い合わせは、市衛生課(☎35)2111番内線268、272番)へどうぞ。

月 令	対 象 児	期 日	内 容
3ヵ月児	S62年8月生	12月8日(火)	健康診査
6ヵ月児	S62年5月生	12月15日(火)	健康相談
1歳児	S61年11月生	12月21日(月)	健康相談
1歳6ヵ月児	S61年6月生	12月22日(火)	健康診査
3歳児	S59年8月生	12月18日(金)	健康診査

みんなの健康教室

▷日 時 11月27日(金)午後1時

▷場 所 市保健センター

▷講 師 横山 義弘先生
(白生会胃腸病院院長)

▷テーマ 「内視鏡的手術」

主 催 北五医師会・市民保健協議会

みんなの健康教室
テレフォンサービス実施中

☎35)0311番

休日・夜間の急病は

在宅医師の照会は消防署へ

☎34-4999番

(救急医療部会)